スピニングリール

温

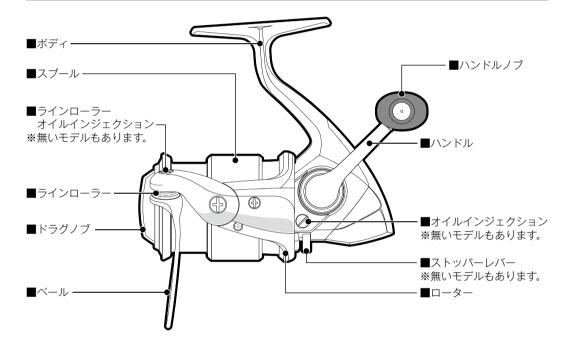
淵

投

敃

この度はシマノ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます本製品の機能を十分に引き出し、末永くご愛用いただくためにも、使用前にこの取扱説明書をお読みいただき、リール同様大切に保存してくださるようお願い申し上げます。

各部の名称



※イラストは実際の製品とは異なります。

安全上・ご使用上のご注意 ご使用前に必ずお読みください。

⚠注意

- ●キャスティング(投げる)の時は、ベールを起こすことを忘れないでください。 仕掛けが切れたり、思わぬ方向にとんで周囲の人にけがをさせるおそれがあります。
- ●キャスティング(投げる)の時、ストッパーのある機種では、ストッパーをONにして投げてください。
- OFFにして投げるとハンドル等が逆転し、手に当たりけがをするおそれがあります。 ●ストッパーのある機種では、ストッパーをOFFにして釣っていると、ハンドル等が逆転し、手に当たりけが
- をするおそれがあります。 ●糸が勢いよく出ている時は、糸にふれないでください。糸で指を切るおそれがあります。
- ●メッキや塗装等の表面処理が剥がれたり、強い衝撃等により素材の表面が鋭利になった場合には、その 部分に触れないでください。けがをするおそれがあります。



- ●根掛かりした時は、年やリールで無理にあおらないで、手にタオル等の布きれを巻くか、丈夫な棒状の物に糸を巻きつけてゆっくりと引っ張るようにしてください。リールの故障の原因となります。ハサミ等で手元付近の糸を切ると、現場に糸が多く残るのでおやめください。
- ●落下にご注意ください。リールを竿に取り付けた状態で、アスファルト、コンクリート等の地面に強く落下させると、衝撃でリールの脚部が折れることがあります。
- ●リールを砂地に直接置いたり、リールを水没させないでください。リール内部に砂や水が入ると、故障の 原因となります。
- ullet幼児の手の届くところには置かないでください。予期せぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- ●遠投する際にはドラグが滑ると糸で指を傷付けるおそれがあります。
- 必ずドラグを強く締付けてから投げてください。 ●リールを釣り以外の目的で使用しないでください。
- ●リールの回転部にはグリスや油が付いていますので、服を汚さないように注意してください。
- ●リールは丁寧に扱ってください。移動時、特に放り投げや、バック内で他の道具との接触による破損には 十分ご注意ください。



●回転しているハンドル、ローター等には、触れないでください。けがをするおそれがあります。

商品のお問い合せ・アフターサービスのご案内

- ●弊社の製品、部品には全てコードがついています。製品のコードにつきましては「仕様一覧」に表示しています。また、部品につきましては分解図に載せています。製品の性能、スペック等のお問い合せの際は「仕様一覧」をご覧いただき、製品名と製品コードをお知らせください。(例/製品名:ステラ1000S製品コード:SD83B012)
- ●修理に出されるときは、お買い上げの販売店に現品をお預け願います。その際には必ず、不具合が生じたそのままの状態で販売店へお持ちいただき、修理箇所、不具合内容を具体的に(例/ストッパーが働かない)お知らせください。また、お近くにシマノ商品取扱店がない場合は、最寄りの営業所へお問い合わせください。修理品は部品代のほか工賃を頂きますのでご了承ください。商品の故障などによって生じる他のタックルの破損、紛失、釣行費等は保証できません。
- ●弊社純正部品以外の取り付けによる不具合は保証いたしかねます。 また、弊社純正部品以外の部品が取り付けられたままでの修理はお断りさせていただく場合がございますのであらかじめ ご了承ください。
- ●ご自分で修理をされる場合の部品や替えスプールのお取り寄せは分解図をご覧いただき、製品名・商品コードもしくは製品コード・部品番号・部品名をご指定のうえ、お買い上げの販売店にご注文ください。内部の部品に関しましては、複雑ですのでリール本体ごと修理に出されることをお薦めします。(例/製品名:ステラ 1000S 商品コード:02425 製品コード:SD83B012 部品番号:2 部品名:スプール)
- ●弊社ではリール、釣竿の補修用性能部品の保有期間を、製造中止後6年間としています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。修理対応期間を過ぎた場合は修理をお断りすることがございます。性能部品以外は製造中止後6年以内でも供給できない可能性がございます。
- ●商品コード/製品コードの位置 分解図、パッケージ底面部もしく は側面部に製品コード・商品コー ドを表示しています。また、製品 には商品コードを表示しています。
- *パッケージ、製品にこれら表示の 無いものもございます。



定期メンテナンス

■ベアリングの塩噛み

S A-RB(シールド耐塩水ベアリング) はベアリング本体、シールドともに錆びにくい物になっています。しかしシールドはベアリング内部に塩水が浸入して発生する 『塩噛み』を完全に防ぐものではありません。

ベアリング内部に塩水が浸入して乾燥すると、塩噛みを起こす場合があります。錆びている訳ではありませんが、同様に音なり、ゴロ付き等の症状が出る場合があります。その場合、S A-RB を取り出して真水で洗い流して塩抜きするか、S A-RBごと交換しなければ完全には解消できません。メンテナンスをお受けいただくことをお勧めします。

■弊社サービスへご依頼ください。

リールの状態は使用頻度のみならず、使用環境、使用方法、対象魚等によって大きく変わります。回転時の異音、違和感を感じられたら、<u>お買い上げの販売店を通じて直</u>ぐさま弊社サービスへお預けください。

また、半年に1度をめやすにオーバーホールなどのメンテナンスを行うことをお勧めいたします。オーバーホールに関しましては、機種別、コース別がございますので詳しくは総合カタログまたはシマノホームページでご確認の上、販売店へお持込みいただき、ご依頼くださいますようお願い申し上げます。

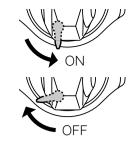
使用方法・リールの準備 ※説明書中のイラストは実際の製品と異なる場合がございます。

■ストッパーレバーの操作方法

通常は、ストッパー ON で使用します。

- ON 逆転止めが作動し、ハンドル は正転方向にしか廻りません。
- **OFF** 逆転止めが解除され、ハンドルは正転、逆転どちらの方向にも廻ります。

※ストッパーレバーが無いモデルもあります。



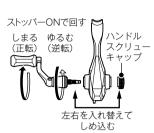
■ハンドルの左右交換方法

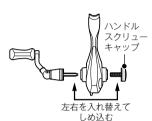
●ねじ込みハンドルの場合

- ①ハンドルスクリューキャップを外し ストッパーONで回すます。 しまる ゆるむ
- ②ハンドルを逆転方向に回し取り外す。 ③左右を入れ替え、ハンドルを回転方 向に回し取り付けます。
- ④ハンドルスクリューキャップを取り 付けます。
- ※左右付け替え時に、ハンドル軸の交換が必要なモデルもあります。

●ねじ込みハンドルで無い場合

- ①ハンドルスクリューキャップを反時計回りに回し外します。
- ②ハンドルを引き抜き左右を入れ替え ます。
- ③ハンドルスクリューキャップで締め付けて固定します。



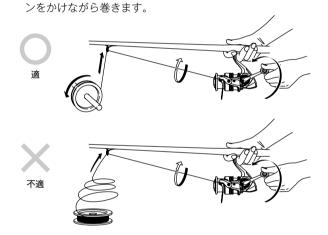


■糸の巻き方

- ①リールを竿に取り付けます。
- ②ドラグを締め込みます。③元ガイドから糸を通しスプールに結びます。このとき、結び目はテープ等で固定します。
- ④図のように、糸が巻かれたボビンをタテにして、適度に抑え、糸にテンショ

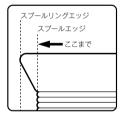


糸の結び目はテープ等で固定



● AR-C 推奨糸巻量

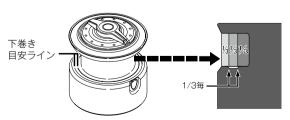
図の位置まで糸を巻きます。それより多く 巻かれますと AR-C スプールの性能が発揮 されない場合があります。



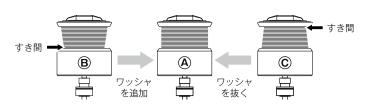
■下巻き目安ライン

全糸巻量の 1/3 ごとに目安ラインが引いてあります。全糸巻き量が 150 m の場合 50 m 毎になります。

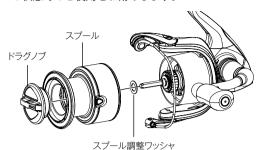
※下巻き目安ラインが無いモデルや、1/2のモデルもあります。



■糸巻き形状の調整方法

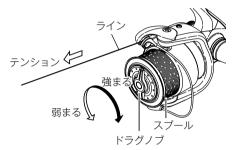


Bの状態からスプール調整ワッシャを追加するとAの状態に近づきます。 Cの状態からスプール調整ワッシャを抜くとAの状態に近づきます。 なるべくAの状態でのご使用をお勧めします。



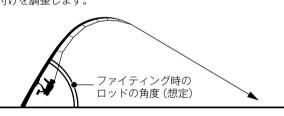
■ドラグの調整方法

ドラグとは、その強弱を調整することにより、急激な魚の引きに対し、 スプールが逆転して糸切れを防ぐ機構です。



①ドラグノブを右に回すとドラグ力が強くなり、左に回すと弱くなります。 ②リールを使用するロッドに取り付け、ラインをロッドのガイドに通します。

③ストッパー ON の状態で図のように糸を引き出しながらドラグの締め付けを調整します。



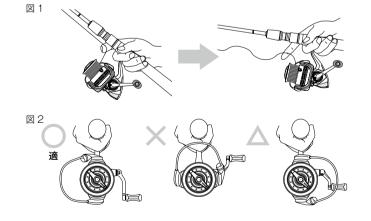
■キャスティング方法

①図1のように人差し指に糸を引っ掛けます。

②図2の位置でベールを起こします。

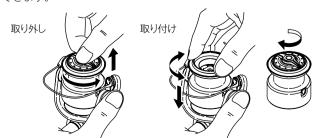
③竿を振りかぶり、キャスティングをしてください。

※ドラグの締め付けが弱すぎるとスプールが逆転し糸で指を切るおそれがあります。



■スプールの着脱方法

●取り外し方 ドラグノブを反時計回りに外れるまで廻してください。 ●取り付け方 スプールを左右に廻しながら、完全に底当たりするまで 押し込んでください。ドラグノブを時計回りに廻すと締め付けることが できます。



お手入れ方法

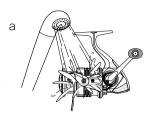
特に海水・汽水域でリールをご使用された後は、錆や塩分の固着によるトラブルを防止するためにも、以下の要領で釣行後にメンテナンスを行うことをお勧めします。

① 必ず竿から外してください。

使用後は、必ず竿から取り外して、真水で水洗いしてから保管ください。 例え、水洗いされても、竿とセットしたまま放置されますと、リールのフット部とリールシートのフード部に水が溜まり、腐蝕するおそれがあります。

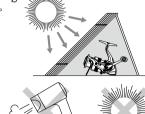
② 水洗いしてください。

使用後はシャワーでの洗浄が可能です。 まず、ドラグ内に水が入らないように、 ドラグを締め込んでください。次に、シャ ワー等の真水で、リールに付着した塩分、 砂、汚れを水洗いしてください。(図a) 温水はグリスを洗い流すおそれがありま すのでおやめください。又、同様の理由 で、リール本体を水没させないでください。



③ 乾燥させてください。

しっかりと水を切った後、直射日光を避け、陰干ししてください。その際、ドラグをゆるめ、オイルインジェクションの注油ロキャップを外すと効果的です。尚、直射日光、ドライヤー等は、内部のムレを引き起こします。お避けください。(図b)



ドライヤー

ヤー 直射日光

④ 注油してください。

オイルとグリスは下図を参考にしていただき、それぞれ間違えないよう に噴霧してください。尚、グリス、オイルは弊社純正品(総合カタログ またはシマノホームページ参照)をお使いください。そうでない場合の 品質は保証いたしかねます。ご注意ください。

※ドラグ部にはシマノドラグ専用グリス(総合カタログまたはシマノホームページ参照)以外は塗布しないでください。ドラグ専用グリスを必要な方は、アフターパーツで取り扱っておりますので最寄りの販売店にてご注文ください。

《注油上のご注意》

●オイルインジェクション (ボディ、ラインローラー) について

オイルインジェクションからオイルまたはグリスを噴霧する頻度は、水洗い・乾燥後及び、釣行5回につき1度、または、次の釣行までの期間が1ヶ月以上ある場合に1度を目安にしてください。又、1度の噴霧(注油)時間は約1秒です。注油後、注油キャップは必ずお閉めください。逆流したオイルで服を汚す場合があります。

※オイルインジェクションからの大量のグリススプレーはお避けください。ストッパーがきかなくなることがあります。

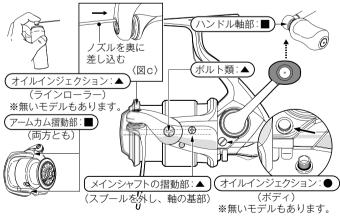
●ラインローラーオイルインジェクションへの注油

ラインローラーオイルインジェクションよりシマノ純正オイルまたはグリススプレーのノズルを奥まで差し込み、ワンプッシュしてください。 (下図 c)

※注意: 噴霧したオイルまたはグリスがラインローラー部の隙間より 噴き出る可能性がありますので、リールからスプールを外しライン ローラー近辺をきれいな布等で覆ったうえで、スプレーしてください。 また、付着したオイルまたはグリスがリールの回転により衣服等へ飛 び散るおそれがありますので、スプレー後はきれいな布等でライン ローラー表面を拭き取ってください。

- ●ローラークラッチ部には絶対にグリスを塗布しないでください。ストッパー逆転の原因となります。
- ●ローター内部にはグリススプレーを噴射しないでください。ストッパーやブレーキが利かなくなる原因となります。

●オイル (スプレー) 使用部分箇所



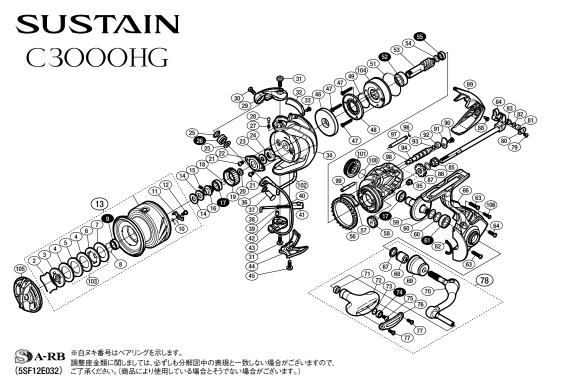
●:オイル推奨 ■:グリス推奨 ▲:オイルまたはグリス推奨

※グリスは、分解してグリスアップする場合以外は必要ございません。 ※イラストは実際の製品と異なる場合がございます。

⑤ 保管上のご注意

保管の際は必ず竿から取り外してください。

また、なるべく乾燥した冷暗所に保管してください。濡れたまま湿度の 高い状態で密封された空間(自動車のトランク、ダッシュボード等)に 長時間放置されますと腐食を起こす可能性があります。



■パーツリスト

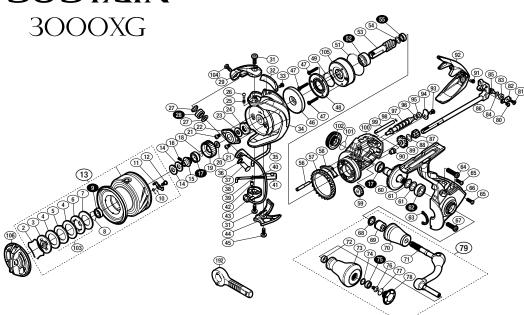
	, ,,,,				
番号	部 品 名	番号	部 品 名	番号	部 品 名
2	抜ケ止メバネ	39	アームバネガイド(A)カラー	77	固定ボルト
3	小判座金	40	アームカムバネ	78	ハンドル組
4	ドラグ座金	41	アームカムバネシート	79	固定ボルト
5	耳付座金	42	アームバネガイド(A)カラーブッシュ	80	ウォームシャフトピン押サエ板
6	小判座金	43	ベール組	81	ウォームシャフトピンカラー
7	ドラグ座金	44	ベール取付ケカバー	82	座金
8	ベアリング抜ケ止メ	45	固定ボルト	83	ウォームシャフトピン
9	ボールベアリング(6×10×3 SARB)	46	ローターカラー	84	メインシャフト組
10	スプールピンバネ	47	固定ボルト	85	中間ギア(S)
11	スプールピン	48	ローラークラッチカバー板	86	座金
12	固定ボルト	49	Oリング	87	中間ギア(L)
13	スプール組	51	Oリング	88	固定ボルト
14	スプール座金	52	ボールベアリング(7×14×5 SARB)	89	ボディガード
15	セットスクリュー(M2×5)	53	ピニオンギア	90	固定ボルト
16	スプール軸ベアリングガイド	54	座金	91	ウォームシャフトカバー
17	ボールベアリング(7×11×3 SARB)	55	ボールベアリング(5×8×2.5 SARB)	92	ウォームシャフトブッシュ
18	ラチェットバネ	56	フリクションリング	93	座金
19	ドラグ音出シラチェット	57	内ゲリ当タリ	94	ウォームシャフト
20	スプール受ケ	58	ウォームシャフトギア	95	ウォームシャフトブッシュ
21	固定ボルト	59	ドライブギア組	96	Oリング
22	リテーナ	60	座金	97	摺動子ガイド(A)
23	ローターベアリングシール	61	ボールベアリング(7×13×4 SARB)	98	ボディ
24	ローターナット	62	フタフランジシール	99	中間ギア軸
25	ラインローラーベアリングカラー	63	固定ボルト	100	Oリング
26	ラインローラー(ベアリング入り)組	64	固定ボルト	101	ハンドルスクリューキャップ
27	音出シバネ	66	脚付キフタ組	102	内ゲリレバー
28	音出シピン	67	ハンドル軸シール	103	座金
29	アームカム	68	ハンドル軸ツバ(B)	104	ローラークラッチ組
30	固定ボルト	69	ハンドル軸ツバ	105	ドラグノブ組
31	固定ボルト	70	ハンドルシャフト組	106	固定ボルト
32	バランサーガード組	71	ブッシュ		
33	固定ボルト	72	ハンドルノブ組		
34	ローター	73	座金		
36	座金	74	ボールベアリング(4×7×2.5 SARB)	*F01	リール袋 (付属品)
37	アーム固定軸	75	固定ボルト	PUNT	取扱説明書分解図セット (付属品)
38	アームバネガイド	76	ハンドルノブ銘版	ITOS	スプール糸止メシール (付属品)

※部品内容について予告なく変更する場合があります。

(180824)_008

Printed in Malaysia P-002

SUSTAIN



(5SF12F035) ※白ヌキ番号はベアリングを示します。 調整座金類に関しましては、必ずしも分解図中の表現と一致しない場合がございますので、 で了承ください。(商品により使用している場合とそうでない場合がございます。)

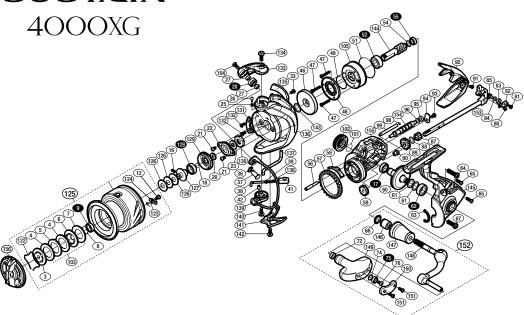
■パーツリスト

番号	部 品 名	番 号	部 品 名		番号	部 品 名
2	抜ケ止メバネ	40	アームカムバネ		78	ハンドルキャップ
3	小判座金	41	アームカムバネシート	Г	79	ハンドル組
4	ドラグ座金	42	アームバネガイド(A)カラーブッシュ	Γ	80	固定ボルト
5	耳付座金	43	ベール組	Γ	81	固定ボルト
6	小判座金	44	ベール取付ケカバー	Г	82	ウォームシャフトピン押サエ板
7	ドラグ座金	45	固定ボルト		83	ウォームシャフトピンカラー
8	ベアリング抜ケ止メ	46	ローターカラー		84	座金
9	ボールベアリング(6×10×3 SARB)	47	固定ボルト		85	ウォームシャフトピン
10	スプールピンバネ	48	ローラークラッチカバー板		86	メインシャフト組
11	スプールピン	49	Oリング		87	中間ギア(S)
12	固定ボルト	51	Oリング		88	座金
13	スプール組	52	ボールベアリング(7×14×5 SARB)		89	中間ギア(L)
14	スプール座金	53	ピニオンギア		90	ウォームシャフトブッシュ
15	スプール軸ベアリングガイド	54	座金	L	91	固定ボルト
16	セットスクリュー(M2×5)	55	ボールベアリング(5×8×2.5 SARB)		92	ボディガード
17	ボールベアリング(7×11×3 SARB)	56	中間ギア軸		93	固定ボルト
18	ラチェットバネ	57	フリクションリング	L	94	ウォームシャフトカバー
19	ドラグ音出シラチェット	58	内ゲリ当タリ	L	95	ウォームシャフトブッシュ
20	スプール受ケ	59	ウォームシャフトギア	L	96	座金
21	固定ボルト	60	ドライブギア組	L	97	ウォームシャフト
22	リテーナ	61	座金	L	98	Oリング
23	ローターベアリングシール	62	ボールベアリング(7×13×4 SARB)	L	99	摺動子ガイド
24	ローターナット	63	フタフランジシール	L	100	ボディ
25	音出シバネ	64	固定ボルト	L	101	Oリング
26	音出シピン	65	固定ボルト	L	102	ハンドルスクリューキャップ
27	ラインローラーベアリングカラー	66	脚付キフタ組	L	103	座金
28	ラインローラー組(ベアリング入り)	67	固定ボルト	L	104	固定ボルト
29	アームカム	68	ハンドル軸シール	L	105	ローラークラッチ組
31	固定ボルト	69	ハンドル軸ツバ(B)	L	106	ドラグノブ組
32	バランサーガード組	70	ハンドル軸ツバ	L		
33	固定ボルト	71	ハンドルシャフト組	L	192	リールレンチ (付属品)
34	ローター	72	ブッシュ	L		
35	内ゲリレバー	73	ハンドルノブ組	L		
36	座金	74	座金	L		
37	アーム固定軸	75	ボールベアリング(4×7×2.5 SARB)	L	*F01	リール袋 (付属品)
38	アームバネガイド	76	固定ボルト		PUNT	取扱説明書分解図セット (付属品)
39	アームバネガイド(A)カラー	77	Oリング		ITOS	スプール糸止メシール (付属品)

※部品内容について予告なく変更する場合があります。

(171014)_006

SUSTAIN

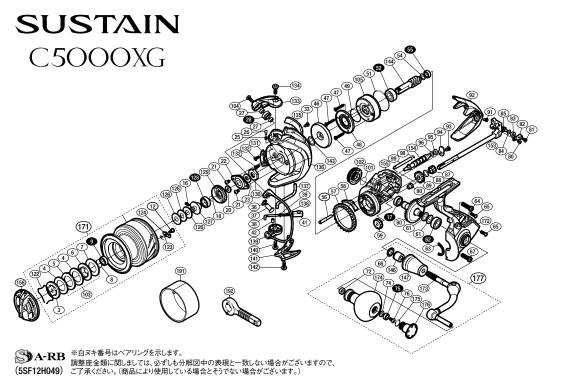


■パーツリスト

番号	部 品 名	番号	部 品 名	番号	部 品 名
3	小判座金	60	ドライブギア組	125	スプール組
4	ドラグ座金	61	座金	126	スプール座金
5	耳付座金	62	ボールベアリング(7×13×4 SARB)	127	スプール軸ベアリングガイド
6	小判座金	63	フタフランジシール	128	ボールベアリング(8×16×5 SARB)
7	ドラグ座金	64	固定ボルト	129	ドラグ音出シラチェット
8	ベアリング抜ケ止メ	65	固定ボルト	130	ローターナット
9	ボールベアリング(6×10×3 SARB)	67	固定ボルト	131	バランサー A
12	固定ボルト	68	ハンドル軸シール	132	固定ボルト
16	セットスクリュー(M2×5)	72	ブッシュ	133	アームカム
17	ボールベアリング(7×11×3 SARB)	74	座金	134	固定ボルト
18	ラチェットバネ	75	ボールベアリング(4×7×2.5 SARB)	135	バランサーガード組
20	スプール受ケ	76	固定ボルト	136	ローター
21	固定ボルト	80	固定ボルト	137	内ゲリレバー
22	リテーナ	81	固定ボルト	138	アームカムバネ
23	ローターベアリングシール	82	ウォームシャフトピン押サエ板	139	ベール組
25	音出シバネ	83	ウォームシャフトピンカラー	140	固定ボルト
26	音出シピン	84	座金	141	ベール取付ケカバー
27	ラインローラーベアリングカラー	85	ウォームシャフトピン	142	固定ボルト
28	ラインローラー組(ベアリング入り)	87	中間ギア(S)	143	座金
33	固定ボルト	88	座金	144	ピニオンギア
36	座金	89	中間ギア(L)	145	脚付キフタ組
37	アーム固定軸	90	ウォームシャフトブッシュ	146	ハンドル軸ツバ(B)
38	アームバネガイド	91	固定ボルト	147	ハンドル軸ツバ
39	アームバネガイド(A)カラー	92	ボディガード	148	ハンドルシャフト組
41	アームカムバネシート	93	固定ボルト	149	ハンドルノブ組
42	アームバネガイド(A)カラーブッシュ	94	ウォームシャフトカバー	150	ハンドルノブ銘版
46	ローターカラー	95	ウォームシャフトブッシュ	151	固定ボルト
47	固定ボルト	96	座金	152	ハンドル組
48	ローラークラッチカバー板	98	Oリング	153	メインシャフト組
49	Oリング	99	摺動子ガイド	154	ウォームシャフト
51	Oリング	101	Oリング	155	ボディ
52	ボールベアリング(7×14×5 SARB)	102	ハンドルスクリューキャップ	156	ドラグノブ組
54	座金	103	座金		
55	ボールベアリング(5×8×2.5 SARB)	104	固定ボルト		
56	中間ギア軸	105	ローラークラッチ組		
57	フリクションリング	122	抜ケ止メバネ	*F01	リール袋 (付属品)
58	内ゲリ当タリ	123	スプールピンバネ	PUNT	取扱説明書分解図セット(付属品)
59	ウォームシャフトギア	124	スプールピン	ITOS	スプール糸止メシール (付属品)
× → 17 □ □	b家にへいて予生な/亦再す	7 +日. △ よミナ	: h++		(171014) 006

※部品内容について予告なく変更する場合があります。

(171014)_006



■仕様一覧

品番	ギア比	最大ドラグカ (kg)	自重 (g)	糸巻量	最大巻上長 (cm/ ハンドル1回転)	スプール寸法 (径mm/ ストロークmm)	ペアリング数 (S A-RB/ ボール)
C3000HG	6.0	9.0	225	ナイロン(号-m) 2.5-180、3-150、4-100 フロロ(号-m) 2.5-160、3-130、4-100 PE(号-m) 1-400、1.5-270、2-180	88	46.5 /14.5	8/1
3000XG	6.2	9.0	235	ナイロン(号-m) 2.5-180、3-150、4-100 フロロ(号-m) 2.5-160、3-130、4-100 PE(号-m) 1-400、1.5-270、2-180	91	46.5 /14.5	8/1
4000XG	6.2	11.0	285	ナイロン(号-m) 3.5-170、4-150、5-125 フロロ(号-m) 3-190、4-145、5-115 PE(号-m) 1-500、1.5-320、2-210	99	51.0 /17.0	8/1
C5000XG	6.2	11.0	285	ナイロン(号-m) 4-190、5-150、6-125 フロロ(号-m) 4-170、5-135、6-115 PE(号-m) 1.5-420、2-300、3-190	103	53.0 /17.0	8/1

- ●ボールペアリングは、従来のA-RBをシーリングし塩分の浸入を減少させ、ソルトウォーターでの使用をより快適にしたSA-RB(Shielded Anti-Rust Bearing)を使用しています。
- ●糸巻き量は参考値となっております。糸の張力、直径、気温などの様々な要因によって、実際に巻ける数値が前後する可能性があります。
- ●標準付属品: 取扱説明書・分解図・リール袋・スプール糸止メシール・スプール調整ワッシャ(0.25×2、0.5×2) リールレンチ(3000XG, C5000XG)・糸止メベルト(C5000XG)

■パーツリスト

計号	部 品 名	番号	部 品 名	番号	部 品 名
3	小判座金	61	座金	128	ボールベアリング(8×16×5 SARB)
4	ドラグ座金	62	ボールベアリング(7×13×4 SARB)	129	ドラグ音出シラチェット
5	耳付座金	63	フタフランジシール	130	ローターナット
6	小判座金	64	固定ボルト	131	バランサー A
7	ドラグ座金	65	固定ボルト	132	固定ボルト
8	ベアリング抜ケ止メ	67	固定ボルト	133	アームカム
9	ボールベアリング(6×10×3 SARB)	68	ハンドル軸シール	134	固定ボルト
12	固定ボルト	72	ブッシュ	135	バランサーガード組
16	セットスクリュー(M2×5)	74	座金	136	ローター
17	ボールベアリング(7×11×3 SARB)	75	ボールベアリング(4×7×2.5 SARB)	137	内ゲリレバー
18	ラチェットバネ	76	固定ボルト	138	アームカムバネ
20	スプール受ケ	80	固定ボルト	139	ベール組
21	固定ボルト	81	固定ボルト	140	固定ボルト
22	リテーナ	82	ウォームシャフトピン押サエ板	141	ベール取付ケカバー
23	ローターベアリングシール	83	ウォームシャフトピンカラー	142	固定ボルト
25	音出シバネ 音出シピン	84	座金	143	座金
26	音出シピン	85	ウォームシャフトピン	144	ピニオンギア
27	ラインローラーベアリングカラー	87	中間ギア(S)	146	ハンドル軸ツバ(B)
28	ラインローラー組(ベアリング入り)	88	座金	147	ハンドル軸ツバ
33	固定ボルト	89	中間ギア(L)	153	メインシャフト組
36	座金	90	ウォームシャフトブッシュ	154	ウォームシャフト
37	アーム固定軸	91	固定ボルト	155	ボディ
38 39	アームバネガイド	92	ボディガード	156	ドラグノブ組
39	アームバネガイド(A)カラー	93	固定ボルト	171	スプール組
41	アームカムバネシート	94	ウォームシャフトカバー	172	脚付キフタ組
42	アームバネガイド(A)カラーブッシュ	95	ウォームシャフトブッシュ	173	ハンドルシャンク組
46	ローターカラー	96	座金	174	ハンドルノブ組
47	固定ボルト	98	Oリング	175	Oリング
48	ローラークラッチカバー板 Oリング	99	摺動子ガイド Oリング	176	ハンドルノブ銘版
49	Oリング	101	Oリング	177	ハンドル組
51	Oリング	102	ハンドルスクリューキャップ		
52	ボールベアリング(7×14×5 SARB)	103	座金	191	糸止メベルト (付属
54 55	座金	104	固定ボルト	192	リールレンチ (付属
55	ボールベアリング(5×8×2.5 SARB)	105	ローラークラッチ組		
56	中間ギア軸	122	抜ケ止メバネ		
57	フリクションリング	123	スプールピンバネ		
58	内ゲリ当タリ	124	スプールピン	*F01	リール袋 (付属
59	ウォームシャフトギア	126	スプール座金	PUNT	取扱説明書分解図セット(付属
60	ドライブギア組	127	スプール軸ベアリングガイド	ITOS	スプール糸止メシール(付属

※部品内容について予告なく変更する場合があります。

(171014)_006

■夢屋タイプ

品番	スプール	ドラグノブ	ハンドル	ハンドルノブ	ハンドル スクリューキャップ	リールスタンド
C3000HG	S-23	_	H-2	А	HC-2	С
3000XG	S-23	_	H-2	А	HC-2	C(注1) / D
4000XG	S-24	_	H-2	А	HC-2	C(注1) / D
C5000XG	S-24	_	H-2	А	HC-2	C(注1) / D

※詳細はシマノホームページでご確認ください。

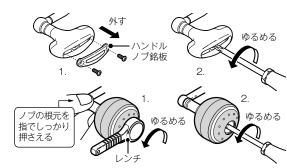
(注1)Cタイプのリールスタンドが取り付け可能ですが、取付が困難、スキマが空く場合はリールスタンド側ネジ部についているOリングを取り外してご使用ください。

■ハンドルノブの取り外し方

- 1. ネジ2本を緩めて、ハンドルノブ銘板を外します。
- 2. ノブ内部のネジをゆるめて外します。

■ハンドルノブの取り外し方

- ハンドルノブカラーを手で押さえながら、付属の ハンドルノブレンチを使い、ハンドルノブキャップ をゆるめて取り外します。
- 2. ノブ内部のネジをゆるめて外します。



使用上のご注意

分解禁山

本製品は、精密な作りになっております。取扱い説明書に分解・メンテナンスの記載がある部位を除き、お客様ご自身による分解は、これら性能が損なわれる可能性がありますので、推奨できません。分解により生じた不具合に関しては、保証致しかねますので、ご注意ください。

本製品は水の入りにくい構造を有していますが、水没させての使用を想定しておりません。

リールを砂地に直接置いたり、リールを水没させないでください。リール内部に砂や水が入ると、故障の原因となります。

本製品は初期性能が従来品より長続きする設計となっています。

そのため注油は今までの製品よりも低い頻度で行っても十分な性能を発揮します。 本製品にはラインローラーに注油穴がありませんが、性能上は問題ありません。 定期的に弊社オーバーホールサービスを受けていただくことを推奨します。

ラインローラーのメンテナンスについて

ラインローラーは毎釣行後、回転させながら水洗いしてください。定期的に専用の特殊はつ水グリス (別売り)を塗布することで性能がより長続きします。弊社オーバーホールサービスの際には専門 スタッフがラインローラーに適切な方法でグリスの塗布を行いますので、オーバーホールサービスの 定期的なご利用を推奨します。お客様ご自身で特殊はつ水グリスを塗布する際には、以下の手順で 行ってください。一部の国や地域では特殊はつ水グリスを販売していない場合があります。

- 1. 固定ボルト(A)を外してください。カラー(B)とラインローラー組(C)、ワッシャー(D)、固定軸(E)を取り外してください。
- ※(D)のワッシャーはないモデルもあります。
- 2. 各パーツの汚れをふき取ってください。その際ラインローラー組はパーツクリーナーなどでの洗浄は お控えください。内部ペアリングに不具合が生じる恐れがあります。 カラー(B)、ラインローラー組(C)に右図のように専用特殊撥水グリスを塗布してください。
- 3. 分解したパーツを組み立ててください。

その際分解したパーツの向きに注意してください。**汎用スピニングの場合**:幅が長い側($\!\!$ %)をボルト側に**投げリールの場合**:テーパーが付いてる側をボルト側にして組み立ててください。

※固定ボルトを取り付ける際はボルトを強く締めすぎないようにご注意ください。ボルトが破損する恐れがあります。

(参考締め付けトルク: **汎用スピニングの場合** 30N・cm、**投げリールの場合** 45-65N・cm) また特殊はつ水グリスを多量に塗布するとリールを勢いよく回転させた際にグリスが飛びだす恐れがあります。つけ過ぎには十分にご注意ください。

